

平成25年1月9日に開催した第9回公立大学法人静岡文化芸術大学役員会の結果は次のとおりである。

1 議案

(1) 非常勤講師の委嘱について

ア 趣旨

予定していた現担当教員（非常勤講師）の辞退及び専任教員の定年退職に伴い、4名の非常勤講師を委嘱することについて、その承認を求める。

イ 主な意見

・非常勤講師の委嘱にあたっては、まず専任教員がその科目を担当できるかどうかを検討する必要がある。現状の専任教員と非常勤講師の比率は、本学の規模等から適当と考える。

ウ 審議結果

審議を踏まえ、議決された。

2 協議事項

(1) 平成25年度公立大学法人静岡文化芸術大学事業方針（未定稿）について

ア 趣旨

平成25年度の事業方針について、学生の実態に対応するため、導入教育の改善、教養教育・語学の強化等の教育内容の充実やデザイン学部・学科の再編成に取り組みたいと考えていること、また、その課題として教員のレベルアップが必要と考えているとして、これに対する意見を伺う。

合わせて、学生・教職員が安心して学び・働くため、また、受験生が安心して本学への進学を考えるために、防災や人権意識向上について、さらに取組みを強化していく旨説明があった。

イ 主な意見

- ・教育課程改正の前提として、文化政策及びデザインそれぞれの必要な基礎学力とは何かを明確にしておくことが不可欠である。
- ・専門以外の分野の基礎を教えることは、教員としての質の向上につながるもので、今後検討していく必要がある。
- ・定年退職者の補充に同分野の教員を充てるのではなく、大学としてカリキュラムに何が足りないのかを考え、それに対応できる教員を採用すべきである。

3 報告事項

(1) 平成25年3月卒業者（第10期生・現4年生）就職内定状況について

事務局より、平成24年12月末現在の就職内定状況について、累計求人件数が昨年よりも約30%増加し内定率も前年同時期に比べ約10ポイント増加したこと等が報告された。

以上により議事を終了